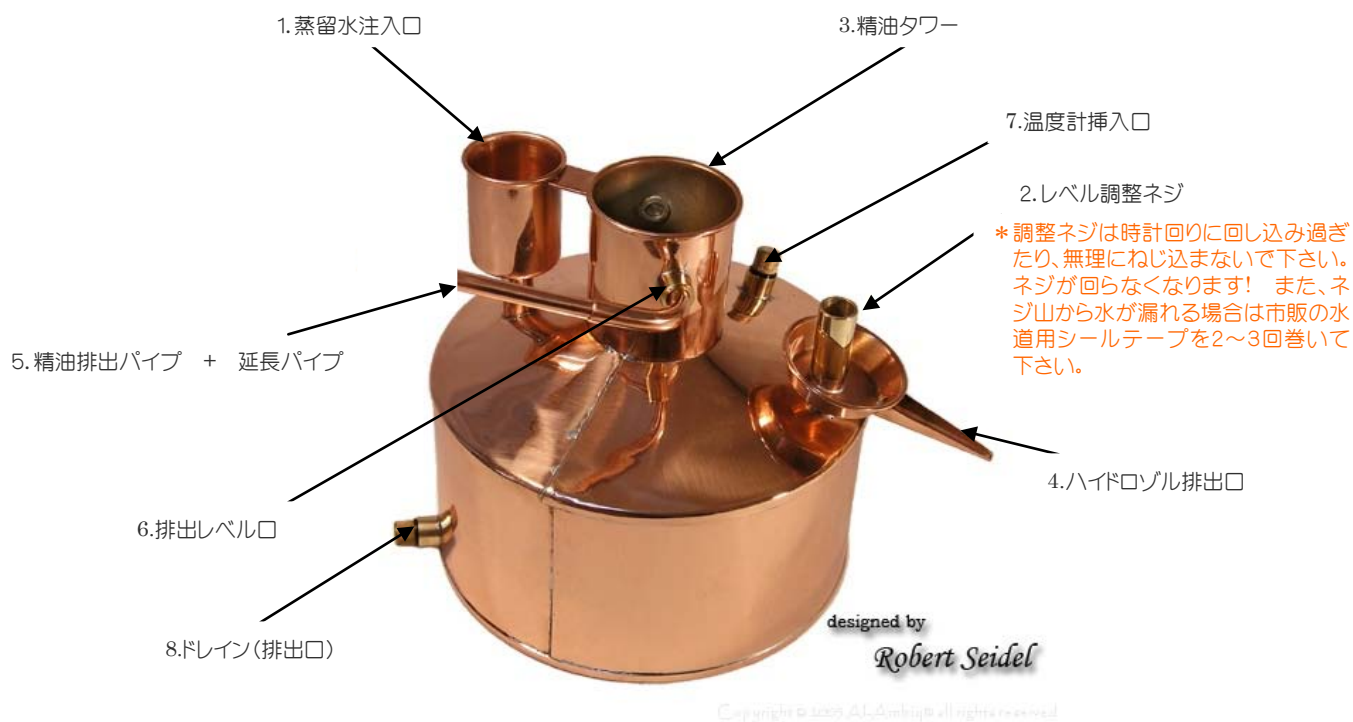


## 銅製精油分離器 フローレンス セパレーター「エッセンシア」



### 1-1 レベル調整ネジ役割の確認

1. エッセンシアは蒸留水から精油とハイドロゾル(芳香蒸留水)を分離するために用います。
2. ご使用前に良く水洗いしながらレベル調整ネジ(2)の役割を確認してください。
3. 水を蒸留水注入口(1)から約3.5L入れると大体、精油排出レベル口(6)あたりまで水が上がって来るはずですが、水より比重の軽い精油はこの精油タワーに浮き上がって溜まります。そしてこのタワーに溜まった精油を精油排出パイプを下に向け精油をビーカーなどに取り出します。
4. さらに水を入れてみてください。ハイドロゾル排出口(4)から水が溢れ出てくるでしょうか？出てくる場合はレベル調整ネジをもう少し反時計回りに回します。反時計回りに回せば回すほど、水を加えた際に精油タワーの水位が上がります。
5. このようにレベル調整ネジは精油タワーの水位を調節することによりここに精油を溜めることができます。ハーブにより、精油の抽出量は異なりますので先ずは少しだけ溜めるようにこの時点で調節しておきます。
6. レベル調整ネジの役割が分かったら、排水口(8)のネジを外して水を流します。さらに本体を逆さまにして水を捨て排水口(8)のネジを締めます。良く乾燥させて保管します。

## 1-2 実際の使用法

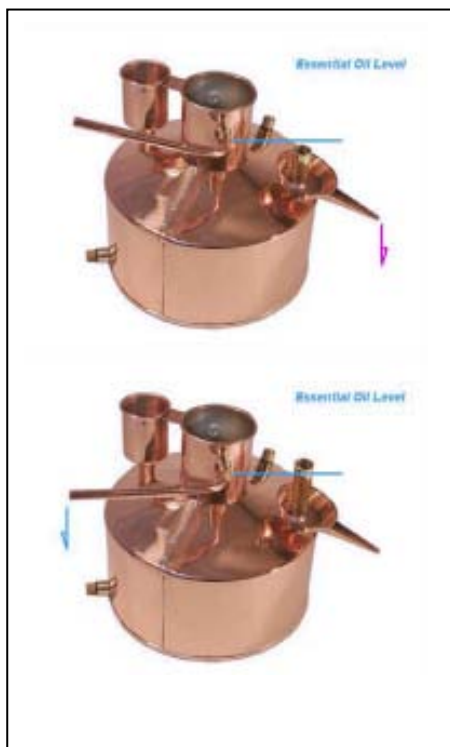
1. 冷却槽の蒸留水排出口から出る蒸留水がエッセンスの蒸留水注入口(1)に注がれるようにエッセンスをセットします。
2. 付属の銅製延長パイプもしくはビニールチューブを精油排出パイプに取り付けます。取り付け方は延長パイプと一緒に入っている説明書をご覧ください。
3. 下の写真のようにハイドロゾルの排出口及び延長パイプの下にビーカーを置いてください。
4. 蒸留水が精油タワーに上がってきたら精油排出パイプを上に向けて、精油が流れ出ないようにします。



5. レベル調整ネジを回して精油タワーの水位を調整し、精油がタワーに溜まるようにします。ある程度精油がタワーに溜まったら、下に向けて精油をビーカーに移します。
6. レベル調整ネジを反時計回りに回して、水位を高くし過ぎると精油をビーカーに移す際に精油と蒸留水が混じってしまいますので注意してください。

### チヨット一言！

抽出予定量が3.5L以下の場合は大型容器などに4.0L以上の精油を含んだ蒸留水を溜めて置き、ゆっくりエッセンスに入れて分離します。また、精油のだけを抽出してハイドロゾル(芳香蒸留水)を使用しない場合は精油が混ざらないように静かにゆっくりとエッセンスに水を足す方法もあります。



7. 蒸留しているハーブにより、抽出される精油の量は異なりますが、レベル調整ネジでの水位の調整が適切であれば、水位が上がると自然にハイドロゾル(芳香蒸留水)が排出口から流れ出て、エッセンスの内部の精油の濃度が高まり、精油タワーに精油が溜まります。
8. 左の写真は精油排出レベル口とレベル調整ネジの水位の関係を図示しています。

## 1-3 清掃

1. 蒸留が終了したら、温かいお湯でエッセンスの内部を良く洗います。匂いが気になるときは食器洗いなどの洗剤を使用してください。また、日光に当てるとかなり匂いを抑えることができます。
2. 良く乾かしてから保管してください。

### ちょっと一言！

- \* エッセンシア本体及び使用するビーカーなどはヤケドに注意して熱湯消毒すると良いでしょう。
- \* 初めに出てくる蒸留水の中には精油が含まれますのでエッセンシア本体の中に蒸留水が半分くらい溜まった時点でその蒸留水を再度、注入口から入れれば精油が取れます。
- \* 精油のみを抽出分離する場合は、500cc位の温水(37℃前後)を精油タワー(3)から注ぎいれます。但し、本体内部に仕切られた小さな池には温水が入らないように入れてください。このようにすれば再蒸留の手間が省けます。
- \* 但し、蒸留水注入口のパイプにも精油が溜まっていることがありますのでスポイトなどで取り出してください。
- \* エッセンシア内部の匂いは日光に当てるとかなり軽減されますが、それでも気になる場合はアルコールを薄めて内部を洗ってください。匂いによりませんが、最初は薄めに4,5倍に薄めて試してください。